

大規模水害から福井を守る

あすわがわ



足羽川ダム

足羽川ダム事業概要

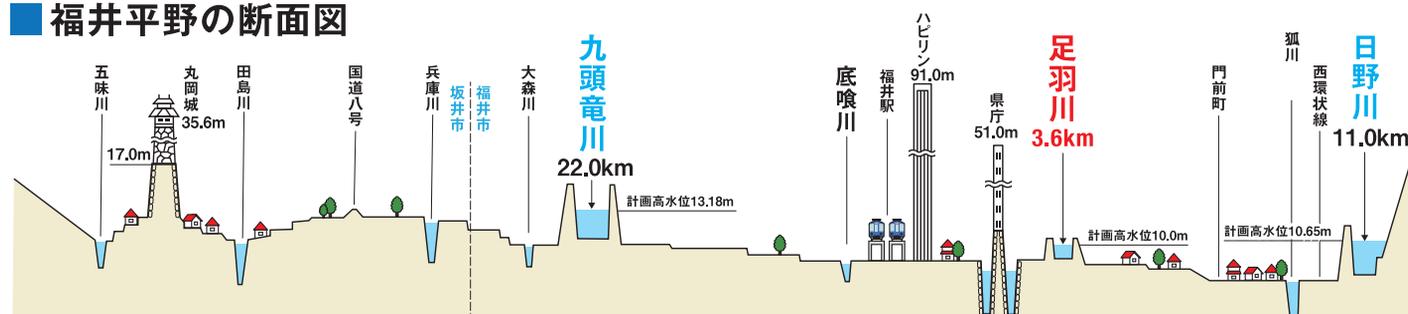


足羽川ダム建設の背景

福井市街地は、周りを九頭竜川・足羽川・日野川の3河川に囲まれ、人口と資産が集中。しかも、足羽川は中心市街地を貫流しています。



福井平野の断面図



3河川の水位は、福井市街地より高く、堤防が決壊すると甚大な被害が発生

知っていましたか？九頭竜川水系でダムがないのは足羽川だけ。

福井平野を流れる3河川(九頭竜川・足羽川・日野川)は九頭竜川水系という大きな流域で福井県の面積の約70%を占めています。九頭竜川流域では河川の氾濫で、継体天皇の治水伝説が残るほど古来より人々を苦しめてきました。戦後、各河川の河道掘削、堤防拡築、堤防強化等などが行われる中、九頭竜川や日野川では上流にダム群が建設され、上下流の治水対策が進みましたが、足羽川では着手が遅れていました。平成16年7月豪雨の被害を受け、九頭竜川水系河川整備計画が策定され、現在足羽川ダム事業に着手しています。

下流を襲った平成16年7月福井豪雨 特に被害が集中したのが、足羽川沿川の福井市街地。

死者・行方不明者5名、
浸水家屋13,000棟以上という
未曾有の大災害。

福井豪雨の被害 (福井県地域防災計画 資料編)

死者・行方不明者	5名
全壊流失・半壊家屋等	411棟
床上浸水	3,323棟
床下浸水	10,334棟

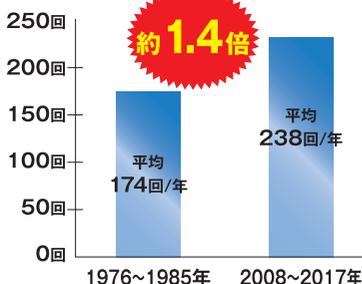


■堤防が決壊した福井市春日地区の浸水の様子

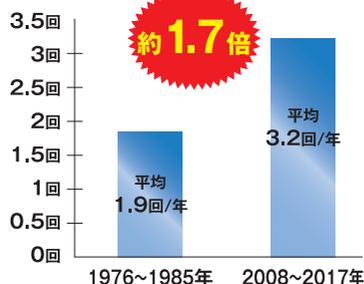


30年で、雨の降り方に变化! 明らかに水害の危険性が増えています。

■時間雨量50mm以上



■時間雨量100mm以上



出典:気象庁資料より作成

出典:台風19号等の概要/内閣府中央防災会議
出典:平成30年7月豪雨関連の記録誌/中国地方整備局

近年の水害



足羽川ダムの諸元



足羽川ダム完成イメージ



場所

福井県今立郡池田町
(九頭竜川水系足羽川)

目的

洪水調節
(足羽川、日野川、九頭竜川の洪水防御)

総事業費

約2,500億円

工期

昭和58年度～令和11年度

堤体

型式:重力式
 コンクリートダム
堤高:96m
堤頂長:約351m

ダム洪水調節地

集水面積:約105km² 洪水時最高水位
湛水面積:約94ha
平常時最高貯水位:— (常時は空虚)

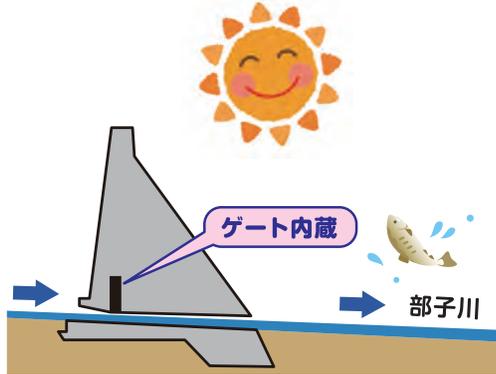
足羽川ダムの構造と特徴

- 平常時は、水を貯めない洪水調節専用の流水型ダム。
- 高さ96mの重力式コンクリートダムで、足羽川の支川の部子川に建設中。

洪水調節専用(流水型)ダムのイメージ

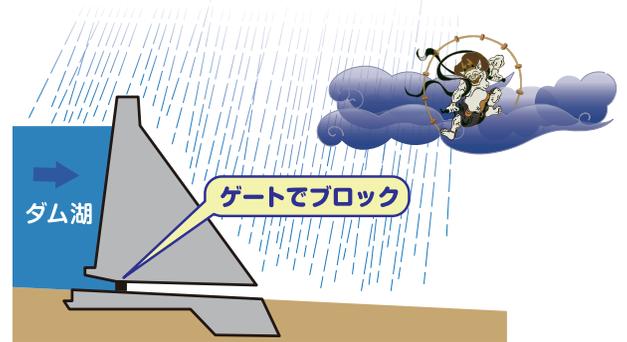
ふだん(平常時)

・平常時は、川の水をそのまま流します。



洪水時

・洪水時は、一時的にダムに水を貯め、洪水後、安全な量だけ下流に流します。



流水型ダムとは洪水調節専用のダムであり、平常時は水を貯めずに、洪水時に一時的に水を貯める、下流河川の洪水被害を低減するダムのことです。平常時は水を貯めず普通の川の状態が維持されるため、ダム上下流において水質が維持され、土砂も流水とともに下流に流れていきます。

水海川導水トンネル

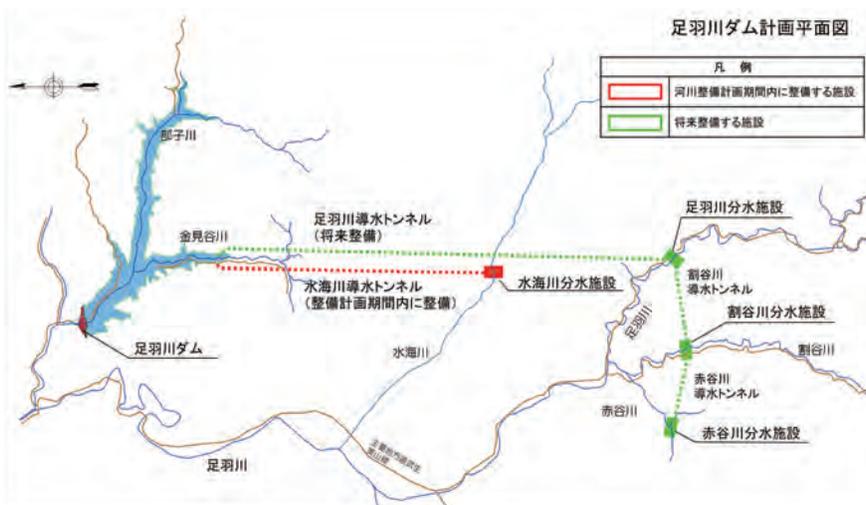
- 下流の洪水を防ぐため、より多くの洪水の水をダム湖に集めるための導水トンネル。
- 現在は、河川整備計画対応の1河川(水海川)からの導水トンネルを整備。
- 将来整備では、3河川(足羽川、割谷川、赤谷川)からの導水トンネルを整備予定。

導水トンネル(整備計画)

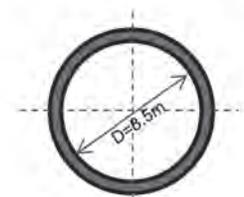
区間距離: 約4.7km
トンネル径: 8.5m

導水トンネル(将来整備)

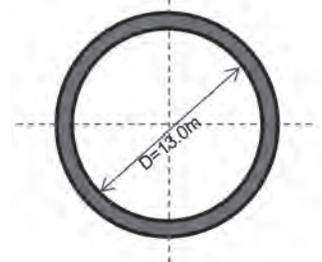
区間距離: 約11km
トンネル径: 約13m



導水トンネル(整備計画)断面図



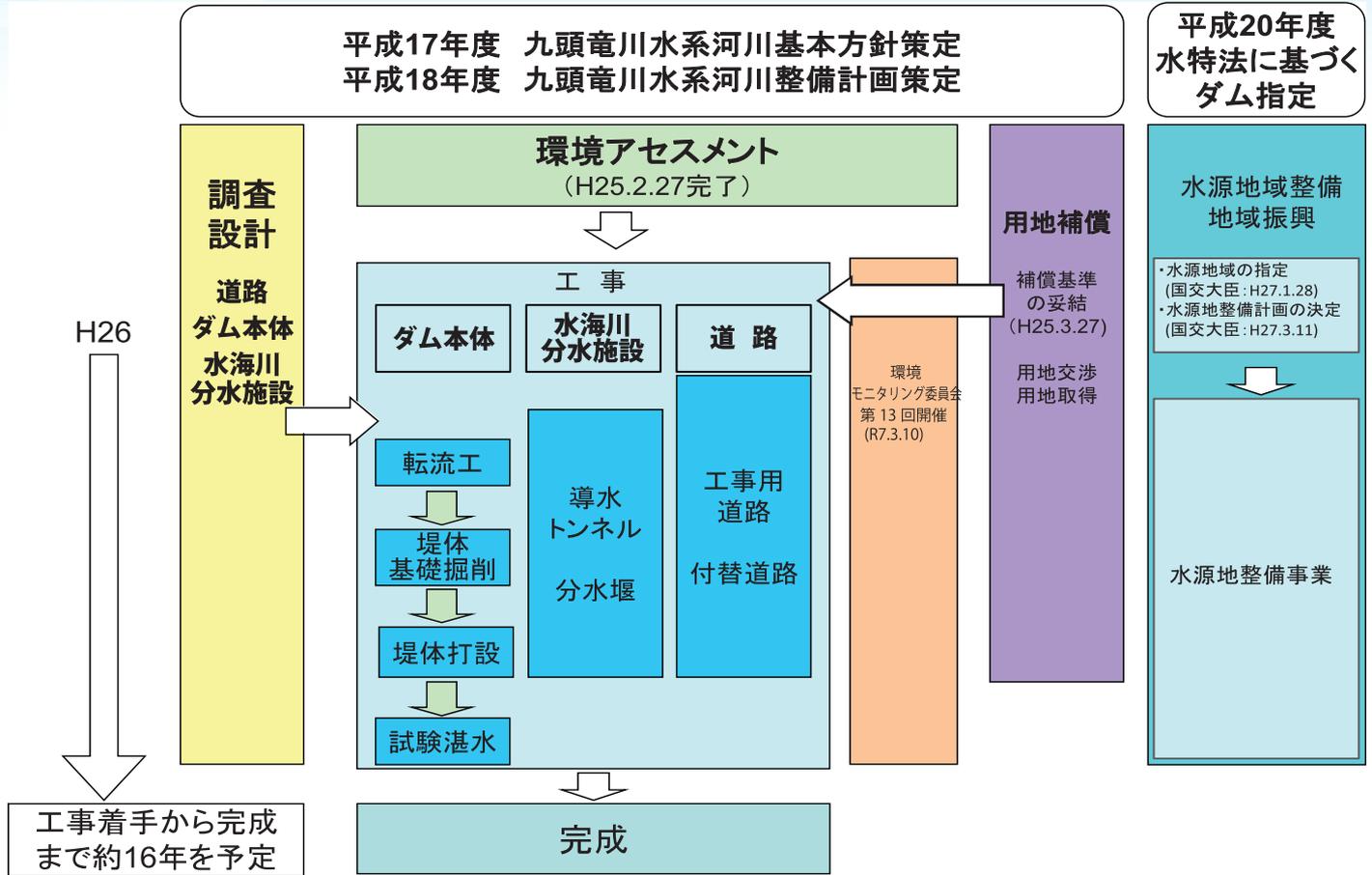
導水トンネル(将来整備)断面図



足羽川ダム事業の主な経緯・経過

昭和58年 4月 (1 9 8 3)	実施計画調査開始	
平成6年 4月 (1 9 9 4)	建設事業に移行	
平成11年 11月 (1 9 9 9)	代替ダムサイト候補案の公表 (H9.9ダム審議会の答申を受けての方針。旧ダムサイトは社会的影響が大きいため(約220戸の移転)、水没世帯を極力少なくする代替案を検討。H19年2月河川整備計画によりダムサイトを正式決定)	
平成16年 7月 (2 0 0 4)	福井豪雨による甚大な被害の発生 死者・行方不明者5名、全壊流失・半壊家屋等411棟、 床上浸水3,323棟、床下浸水10,334棟	
平成18年 2月 (2 0 0 6)	九頭竜川水系河川整備基本方針策定	
平成19年 2月 (2 0 0 7)	九頭竜川水系河川整備計画策定 (I期工事(足羽川ダム・水海川導水トンネル・水海川分水施設)を位置付け)	
平成22年 12月 (2 0 1 0)	ダム事業の検証に係る検討を開始	
平成24年 7月 (2 0 1 2)	ダム事業の検証において、事業継続の対応方針決定	
平成25年 2月 (2 0 1 3)	九頭竜川水系足羽川ダム建設事業環境影響評価書の公告・縦覧	
平成25年 3月 (2 0 1 3)	足羽川ダム建設事業に伴う損失補償基準の締結	
平成26年 6月 (2 0 1 4)	足羽川ダム建設事業 (県道松ヶ谷宝慶寺大野線付替工事)着工式	
平成27年 1月 (2 0 1 5)	水源地域対策特別措置法に基づく、 足羽川ダムに係る水源地域の指定	
平成27年 3月 (2 0 1 5)	水源地域対策特別措置法に基づく、 足羽川ダムに係る水源地域整備計画の決定	
平成29年 7月 (2 0 1 7)	足羽川ダム建設事業水海川導水トンネル工事起工式	
平成30年 3月 (2 0 1 8)	転流工事 着工	
令和2年 6月 (2 0 2 0)	転流工事 完了	
令和2年 11月 (2 0 2 0)	足羽川ダム本体建設工事起工式	
令和4年 11月 (2 0 2 2)	足羽川ダム定礎式	
令和5年 12月 (2 0 2 3)	九頭竜川水系河川整備基本方針の変更	

事業進捗状況について



ダム建設事業の工程計画について



主な工事箇所

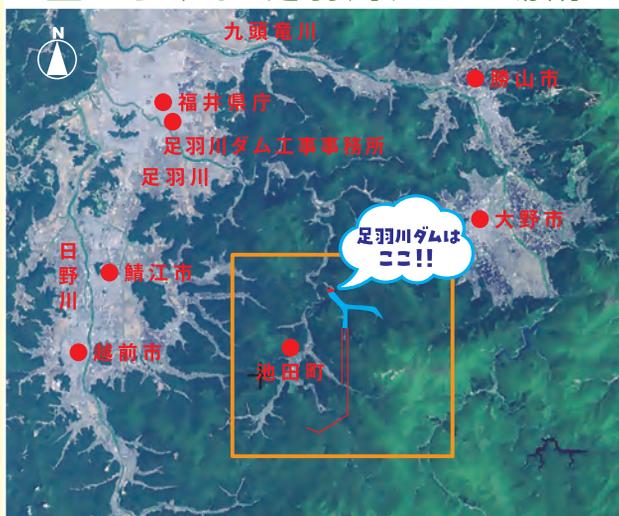
② 橋

付替県道工事

⇒洪水時に水を貯めるので、
県道を高い位置に付け替える。



空からみる、足羽川ダム場所



足羽川ダムが建設される「池田町」

人口約2,200人。面積の9割を占める森林を活用した町づくりと、安心安全にこだわった農業を推進する、人と自然の魅力あふれる「木望のまち」です。

足羽川ダム

●ダムギャラリーあすわ

小畑地区

① 転流工

千代谷地区

②

ダム本体建設工事展望台

池田町

③

水海川導水トンネル
金見谷地区

金見谷川

至福井市

476

① ダム(ダムサイト) ダムができる場所



足羽川ダム本体建設
⇒洪水を堰き止めるための
巨大なコンクリート構造物



③ トンネル

水海川導水トンネル
⇒洪水時に他の川(水海川)から
水を一時的に引き込むための
トンネル。



凡 例	
	松ヶ谷宝慶寺大野線
	付替県道
	付替町道
	トンネル
	湛水域

足羽川ダム建設事業とインフラツーリズム

- インフラツーリズムとは、世界に誇るべき土木技術や優れた性能を有する土木構造物など、特徴あるインフラ施設を観光資源として活用するものです。
- ダム管理者が実施する見学会だけでなく、民間の旅行会社が企画立案して有料で催行される旅行もあり、地域固有の観光資源として注目され始めています。

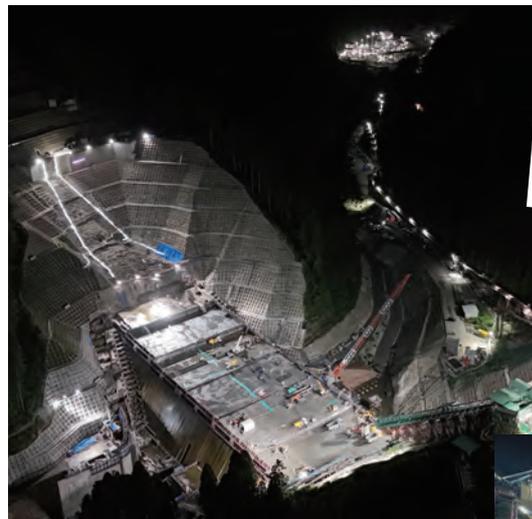
ダム建設の見学ツアーで観光振興に貢献。

今だけ、ここだけ、の特別な巨大インフラ事業で魅力づくり

2022年10月からダム本体のコンクリート打設が始まった「足羽川ダム」。ダム建設の迫力や魅力を楽しんでいただくため、現場見学会や広報施設、動画コンテンツ配信などを行っています。2024年から夜の現場見学会「ナイトツアー」をスタート。工事現場のスケールと幻想的な光景が大反響を呼び、大好評を博しています。また、夜の現場をいつでもご覧いただけるよう「ダム本体建設工事展望台」を24時間開放し池田町への観光振興に寄与しています。



ダム左岸天端からのようす



日中の見学会も大盛況



ダム堤敷からのようす

ダム本体建設工事展望台

ダムギャラリーあすわ



(期間:4月~11月 24時間)



(期間:4月~11月 9時~16時 平日のみ)



足羽川ダムへのアクセス

福井 I C から車で約30分
 鯖江 I C から車で約30分
 武生 I C から車で約35分

足羽川ダムのSNS! 最新の現場情報と地域情報を配信中

channel Asuwagawa & X

channel
Asuwagawa



X



迫力満点の工事現場動画が満載!

詳しく足羽川ダムの事業を知りたい方はここまで!

足羽川ダム
工事事務所HP



現場見学会
募集中



国土交通省 近畿地方整備局
足羽川ダム工事事務所

〒910-0005 福井県福井市大手3丁目14-9
 TEL:0776-27-0642 FAX:0776-27-0643